

# 備南水道企業団経営戦略〔概要版〕

## 1 策定趣旨

- ・水需要の減少に伴い給水収益が減少する一方で、老朽化施設の更新等に多額の費用が必要となり経営が厳しさを増すなか、良質な水を継続的に安定供給するため経営戦略を策定します。
- ・計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間とし、「投資計画」と収支均衡した「財政計画」を核とする中長期的な経営計画として位置付けます。

## 2 事業の現況

供用開始年月日	昭和18年7月1日		水源	高梁川伏流水、地下水
法的・非適の区分	地方公営企業法適用		構成団体	倉敷市、早島町
施設数	浄水場	1箇所	管路延長	24.4km
	配水池	4箇所		
施設能力	102,250 m <sup>3</sup> /日		施設利用率	68.6%
料金体系	単一従量水量制（有収水量×供給単価）		供給単価	28円/m <sup>3</sup> （税抜）
供給単価の算定方法	算定期間内の営業費用（人件費、修繕費等）及び資本費用（支払利息、資産維持費）との計が料金収入と等しくなるよう設定			
料金改定年月日	平成7年8月1日（消費税のみの改定は含まない）			

## 3 経営の基本方針

「備南水道企業団水道ビジョン」に掲げる「地下水のおいしい水を守り続ける水道」を基本理念に、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点を本経営戦略における経営の基本方針として、将来にわたり安定した水道事業運営を行っていきます。

### 【安全】安心して飲めるおいしい水の供給

原水水質の継続的な監視とともに浄水処理方法の変更も視野に入れた対策を行い、検査結果の定期的な公開を通じた透明性の確保に努めます。

### 【強靱】災害に強い水道の実現

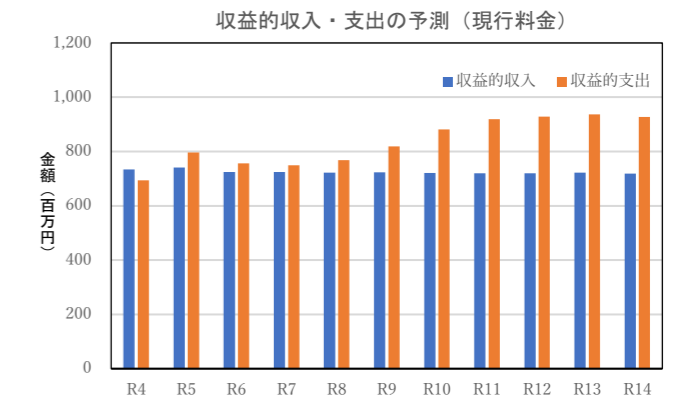
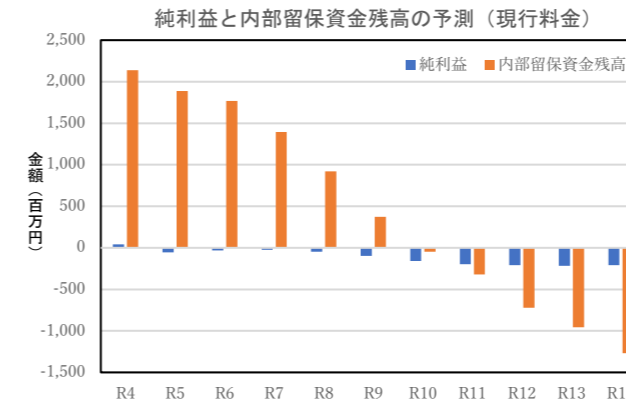
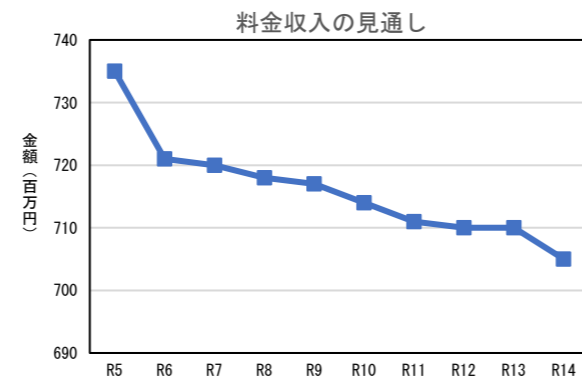
大規模な災害等が発生した場合に備え、施設更新の計画的な実施、効果的な点検・整備・修繕を行い、災害に強い水道施設の整備に努めます。

### 【持続】健全かつ安定した事業経営

経営努力を重ねるだけでなく、企業債や交付金を活用するとともに適正な料金収入の確保を図ることで、更新事業及び耐震事業の財源を確保し、経営基盤の強化に努めます。

## 4 将来の収支

構成団体の給水人口及び水需要は、令和5年度以降減少すると予測され、それに伴い給水収益も減少する見込みです。そのため、令和5年度には純益がマイナスとなり、令和7年度には内部留保資金が最低必要額の14億円を下回ります。



## 5 投資・財政計画

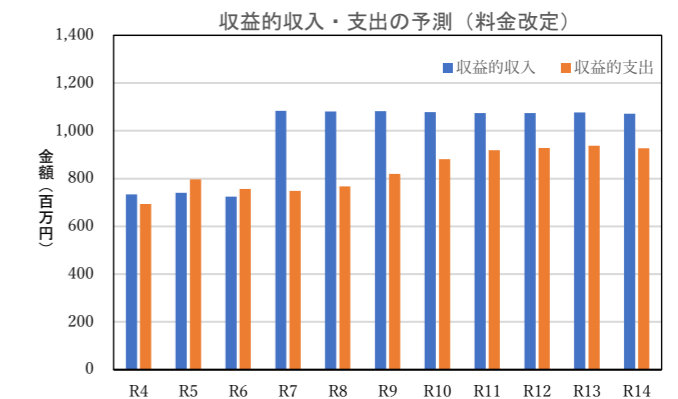
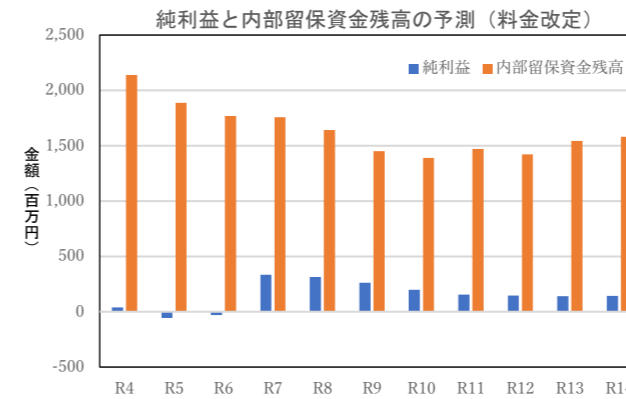
### (1) 投資計画

計画期間の10年間で約77億円の施設更新を行う計画です。

施設更新	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	投資額
1 配水池の更新											786
2 管路更新											3,360
3 浄水場内建物等更新											1,022
4 設備の更新等											2,532

### (2) 財政計画

現行料金の28円/m<sup>3</sup>のまま事業を推進すると令和10年度には内部留保資金が枯渇してしまいます。災害に備え、最低必要額の14億円を確保し事業を行えるよう、令和7年度に料金改定を行う予定で試算をしました。



## 6 計画の推進

今後の社会経済情勢や事業推進状況、経営状況等の変化に対応するため、おおむね3～5年毎にフォローアップを行い、その結果等を反映することで更なる経営の健全化に取り組んでまいります。